



第61期 報告書

2007.3.1 ▶ 2008.2.29

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード NO.8016



代表取締役会長兼CEO
廣内 武



代表取締役社長
水野 健太郎

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より格別のご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

平成20年2月29日をもちまして、第61期の事業年度を終了いたしました。ここに第61期報告書をお届けし、事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

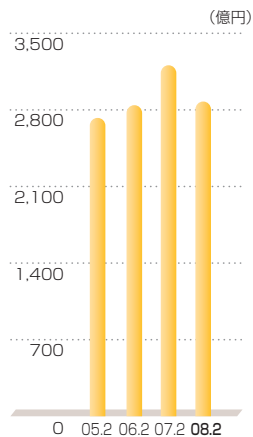
当社グループは、経営力の強化と成長戦略の加速をはかるために、平成19年9月1日付で純粋持株会社によるホールディングス体制に移行いたしました。

今後、さらにオンワードグループの各事業会社の事業基盤強化を進め、規模と領域の拡大をはかり、企業価値・株主価値の向上をめざしてまいります。

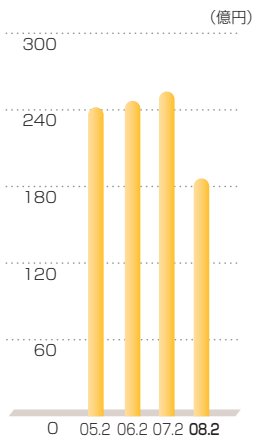
株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

Financial Highlight

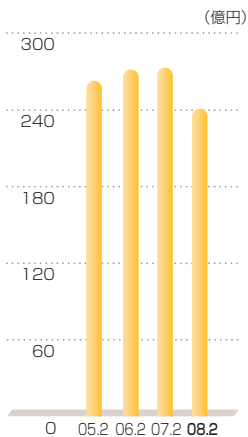
連結売上高



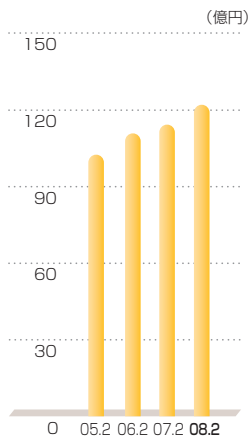
連結営業利益



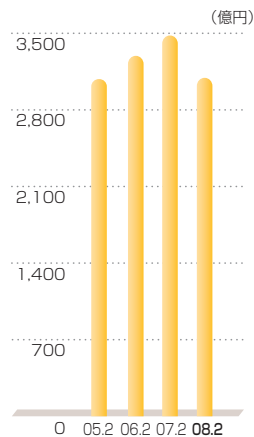
連結経常利益



連結当期純利益



連結総資産



(百万円)

	2005.2	2006.2	2007.2	2008.2
連結売上高	271,273	283,110	318,690	287,032
連結営業利益	24,205	24,707	25,431	18,628
連結経常利益	26,283	27,167	27,407	24,128
連結当期純利益	10,256	11,091	11,438	12,213
連結総資産	308,170	329,403	347,936	309,092
連結純資産	202,376	203,826	225,138	197,639
連結1株当たり当期純利益(円)	58.10	63.79	70.52	76.53

当期の事業環境と業績全般について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加などに支えられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や原油価格高騰の影響により、景気の先行きに不透明感を残すところとなりました。個人消費につきましても、賃金の伸び悩み、物価の上昇による消費マインドの低下により、依然として盛り上がりかけた状況で推移いたしました。

当アパレル業界におきましては、消費トレンドの多様化に加え、春先の低気温や梅雨明けの遅れ、厳しい残暑などの天候不順にも見舞われ、年間を通じて厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは、経営力の強化と成長戦略の加速をはかるために、平成19年9月1日付けで純粋持株会社によるホールディングス体制に移行し、各事業会社の事業領域の拡大と収益力の向上に努めてまいりました。



「組曲」



「23区」

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において上期は基幹ブランドの低迷により課題を残しましたが、下期から経営資源の選択と集中化をはかり、収益構造改革を進め来期に向けた収益基盤づくりを行いました。また、グループ内で無店舗販売事業を主体とした部門、企業をオンワード商事株式会社へ集約し、営業力の強化と経営の効率化をはかってまいりました。

海外事業につきましては、欧州地区とアジア地区が順調に推移し、計画を上回る収益を上げることができました。今後はさらに、海外事業の成長が国内事業の発展につながるよう、グローバルネットワークを活用した海外ブランド戦略や商品開発力強化を推進してまいります。

また、子会社でありました株式会社インパクト二十一の全株式を売却し、当連結会計年度より連結子会社から除外しております。

● 第61期（2008年2月期）の連結業績実績

売上高	2,870億32百万円（前期比 9.9%減）
営業利益	186億28百万円（前期比26.8%減）
経常利益	241億28百万円（前期比12.0%減）
当期純利益	122億13百万円（前期比 6.8%増）

●事業セグメント別の概況

[アパレル関連事業]

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、消費の多様化などで衣料品市場が低迷した影響により、婦人服を中心に苦戦をしましたが、下期から不採算ブランドの廃止と基幹ブランドへの経営資源の集中化を行い、その成果として最大ブランドの「23区」は回復基調となりました。しかしながら、全体として市況は厳しい状況が続きました。

海外事業につきましては、欧州地区でジボコグループが当初計画を上回る業績を達成しました。また、イタリアの有力バッグメーカーのフラッシネティ社とアパレルメーカーのコーポレート社の経営権を取得するなど今後の成長に向けた投資を行い、ブランドビジネスの新たな成長軌道を確認する基盤が整いました。ジョゼフグループは、既存店舗の安定的な売上拡大と、イタリア、ドイツなど新たな市場に向けた販売もスタートし収益化をはかることができました。アジア地区では自社開発ブランドを主体とした販売事業が順調に拡大し、今後、さらに収益拡大の加速が見込まれます。北米地区では「J.プレス」「ジョ



「J.プレス」

ゼフ」ブランドに特化した経営基盤の整備を行い、今後の収益化につなげてまいります。

●アパレル関連事業

売上高	2,693億35百万円(前期比10.8%減)
営業利益	201億44百万円(前期比18.7%減)

[その他の事業]

サービス関連事業につきましては、外部受託獲得を積極化させるなど営業強化をはかりましたが、経営環境の悪化を受けて前年を下回る結果となりました。

リゾート関連事業につきましては、米国グアムのホテル、ゴルフ場を運営する総合リゾート事業に集中し、収益性の改善と今後の事業基盤の確立ができました。

●その他の事業

売上高	274億88百万円(前期比11.3%減)
営業利益	2億77百万円(前期比60.4%減)



「オンワードビーチリゾートグアム」

次期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、米国経済の減速をはじめとする世界経済の不安定、日本における政治、経済の様々な要因による停滞感がでてきており、依然として予断を許さない状況が続くものと思われます。

アパレル業界につきましては、個人消費の大幅な改善が見込めないなか、外資系企業を含む企業間およびブランド間のさらなる競争激化が予想され、経営環境は厳しい状況が続くものと思われます。

このような経営環境のなか、当社グループは、新たな成長軌道の確立をめざし、平成20年度から平成22年度までの3年間を実行期間とする「中期三ヵ年経営計画」を策定いたしました。国内事業では、事業およびブランドの選択と集中による既存事業の安定的な収益拡大をめざすとともに、海外事業では成長基盤の強化と積極的な収益拡大をめざしてまいります。さらに、新たな領域・事業拡大のための積極的なM&Aを実施して、成長の加速をはかってまいります。

この実現に向けた初年度といたしましては、国内事業では株式会社オンワード樺山において、ブランドポートフォリオの整



「iCB」



「ジボコー社」



「ジョゼフ」
パリ・サンジェルマン店

備と拡充による既存ブランドの安定的な収益の拡大と、研究開発・商品開発の強化による新規ブランド開発を推進してまいります。

また、既存の服飾雑貨強化と、グローバルネットワークを活用した新規服飾雑貨戦略で、アパレル以外のカテゴリー事業拡大を加速させてまいります。その他の事業会社におきましても、基本戦略は同様で、事業基盤の改善による収益拡大をめざしてまいります。

海外事業につきましては、エリア特性と各事業会社の強みを明確化して、事業基盤の整備のもとに収益拡大をはかってまいります。欧州地区のジボコーグループとジョゼフグループは継続的な投資を行い、グローバルな成長軌道に向けた戦略を推進してまいります。アジア地区では、引き続き自社開発ブランドを主体とした販売事業の拡大で、収益加速を実現してまいります。北米地区は、展開ブランドと流通戦略を明確化し、収益基盤の確立に向けた施策を実行してまいります。

● 第62期（2009年2月期）の連結業績予想

売上高	2,910億円（前期比 1.4%増）
営業利益	206億円（前期比 10.6%増）
経常利益	242億円（前期比 0.3%増）
当期純利益	124億円（前期比 1.5%増）

「23区」イメージキャラクターに菅野美穂を起用！

株式会社オンワード樫山が展開する主力基幹ブランド「23区」のイメージキャラクターに、女優の菅野美穂さんを起用し、同ブランドとして5年ぶりとなるテレビCMを平成20年3月1日から全国で放映いたしました。

同社では、経営資源の選択と集中による収益拡大策を推進していくなかで「23区」を最重点強化ブランドと位置づけ、さらなるブランド価値の向上に取り組んでまいります。“TOKYOリアルクローズ”をコンセプトとした「23区」は、30歳前後の女性をターゲットに、シンプル&ベーシックを基本にリアリティーのあるトレンドをほどよく取り入れた高品質なコンテンポラリーカジュアルブランドです。

今回の起用は、菅野美穂さんが数多くのTVドラマや映画に出演し、幅広い層の女性から高い支持を得ていることや、当ブランドイメージに通じる品の良さ、聡明さを併せもっていることから決定いたしました。テレビCMは「Walk. 23区」をキャッチフレーズに、メッセージと映像が異なるCMをブランド名と同じ23タイプオンエア。音楽は、ヒップ・ホップグループ「RIP SLYME (リップ・スライム)」が今回のために書き下ろした楽曲を使用しております。



「23区」

「ジョゼフ」香港に初出店、アジアの旗艦店として情報発信。



リーガーデンズ2「ジョゼフ」ショップ

オンワードカシヤマホンコンLTD.は、英国・ロンドンを代表するグローバルファッションブランド「ジョゼフ (JOSEPH)」の香港初となる旗艦店を、「リーガーデンズ2」に平成20年4月2日オープンいたしました。

「ジョゼフ」は平成17年に当社グループの傘下となり、新たなグローバル化戦略を推進しております。欧州地区を中心としたショッピング展開から、新しい国と地域への販売拡大を積極化しており、この一環として、経済成長の著しいアジア地区の主要都市への出店も加速させております。平成19年5月に台湾、9月に北京、上海に進出、香港への出店はこれに続く新たなショッピングとなります。

「リーガーデンズ2」は、香港島の北部中央部にあるコースウェイベイに位置し、欧米のラグジュアリーブランドを数多く取り揃えたステータスのある商業施設で、香港の人気スポットの一つとなっております。

Financial Statements

Consolidated

連結財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

	前期 2007年2月28日現在	当期 2008年2月29日現在
資産の部		
流動資産	135,196	112,519
現金及び預金	57,390	36,849
受取手形及び売掛金	32,307	28,323
たな卸資産	37,097	33,233
繰延税金資産	4,191	3,953
その他の流動資産	4,373	10,328
貸倒引当金	△ 163	△ 167
固定資産	212,739	196,572
有形固定資産	94,850	95,008
建物及び構築物	31,208	32,254
土地	53,723	53,161
その他の有形固定資産	9,918	9,592
無形固定資産	27,094	25,943
のれん	24,310	23,084
その他の無形固定資産	2,783	2,859
投資その他の資産	90,795	75,620
投資有価証券	63,307	50,773
長期貸付金	4,267	4,732
長期前払費用	3,707	1,861
繰延税金資産	5,814	6,435
その他の投資	14,692	12,985
貸倒引当金	△ 995	△ 1,167
資産合計	347,936	309,092

(百万円)

	前期 2007年2月28日現在	当期 2008年2月29日現在
負債の部		
流動負債	103,493	93,320
支払手形及び買掛金	51,692	42,074
短期借入金	26,916	25,677
未払費用	7,258	8,478
未払法人税等	8,234	7,237
未払消費税等	935	2,359
賞与引当金	2,694	2,427
役員賞与引当金	516	289
返品調整引当金	1,027	711
その他の流動負債	4,219	4,065
固定負債	19,304	18,132
長期未払金	2,402	758
退職給付引当金	4,949	3,487
役員退職金引当金	274	151
負ののれん	447	—
再評価に係る繰延税金負債	5,991	5,949
その他の固定負債	5,238	7,786
負債合計	122,798	111,453
純資産の部		
株主資本	212,600	213,625
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,045	50,044
利益剰余金	148,953	157,015
自己株式	△ 16,478	△ 23,514
評価・換算差額等	△ 8,755	△ 18,768
その他有価証券評価差額金	3,813	△ 5,887
繰延ヘッジ損益	20	△ 17
土地再評価差額金	△ 11,012	△ 11,074
為替換算調整勘定	△ 1,577	△ 1,788
新株予約権	72	135
少数株主持分	21,220	2,646
純資産合計	225,138	197,639
負債及び純資産合計	347,936	309,092

連結損益計算書

(百万円)

	前期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで	当期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで
売上高	318,690	287,032
売上原価	175,795	156,842
売上総利益	142,895	130,190
販売費及び一般管理費	117,464	111,562
営業利益	25,431	18,628
営業外収益	3,625	7,048
営業外費用	1,650	1,547
経常利益	27,407	24,128
特別利益	13,948	7,422
特別損失	17,821	3,654
税金等調整前当期純利益	23,535	27,896
法人税、住民税及び事業税	14,409	9,779
法人税等調整額	△3,170	5,185
少数株主利益	858	717
当期純利益	11,438	12,213

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	前期 2006年3月1日から 2007年2月28日まで	当期 2007年3月1日から 2008年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,362	12,503
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,849	△20,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,837	△12,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	364	159
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△1,959	△20,531
現金及び現金同等物の期首残高	56,058	57,306
連結範囲の変更に伴う現金同等物の期首残高増加額	3,207	—
現金及び現金同等物の期末残高	57,306	36,775

連結株主資本等変動計算書 (2007年3月1日から2008年2月29日まで)

(百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2007年2月28日残高	30,079	50,045	148,953	△16,478	212,600	3,813	20	△11,012	△1,577	△8,755	72	21,220	225,138
連結会計年度中の変動額													
剰余金の配当			△4,216		△4,216								△4,216
当期純利益			12,213		12,213								12,213
自己株式の取得				△7,044	△7,044								△7,044
自己株式の処分		△1		8	7								7
土地再評価差額金取崩額			62		62								62
連結子会社の増加			2		2								2
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△9,700	△38	△62	△211	△10,012	62	△18,573	△28,523
連結会計年度中の変動額合計	—	△1	8,061	△7,036	1,024	△9,700	△38	△62	△211	△10,012	62	△18,573	△27,498
2008年2月29日残高	30,079	50,044	157,015	△23,514	213,625	△5,887	△17	△11,074	△1,788	△18,768	135	2,646	197,639

Corporate Profile

会社の概要

(平成20年2月29日現在)

社名	株式会社 オンワードホールディングス ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粋持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	30名
所在地	東京都中央区日本橋3丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード樺山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 バストップ株式会社 アクロストラנסポート株式会社 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社ブックレット 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー オンワードビーチリゾートグアムINC. ジェイプレスINC. ジョゼフLTD. ジボコーS.P.A. フリードオブロンドンLTD. 恩瓦德時尚貿易(中国)有限公司

取締役および監査役

(平成20年5月29日現在)

代表取締役会長兼CEO	廣内 武
代表取締役社長	水野健太郎
代表取締役副社長	馬場和哉
常務取締役	吉沢正明
常務取締役	中村純二
取締役	本庄八郎 中村嘉秀
常勤監査役	山本昭登 松本秀雄
監査役	小川恵一 矢部丈太郎

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
2. 監査役小川恵一、矢部丈太郎の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

Stock Information

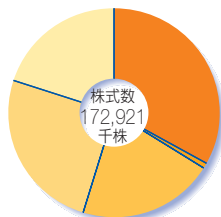
株式の状況 (平成20年2月29日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	172,921,669株
株主数	10,175名

(注) 発行済株式の総数には、自己株式16,259千株が含まれています。

所有者別株式分布状況

	千株	%
金融機関	57,302	33.1
証券会社	1,826	1.0
その他の法人	35,916	20.8
外国法人等	43,699	25.3
個人・その他	34,178	19.8



(注) 個人・その他には、自己株式が含まれています。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月中
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 お問合せ先 0120-232-711 (通話料無料)
------	--

同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
------	---------------------------------------

公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
-------	--

公告掲載URL <http://www.onward-hd.co.jp/>

大株主 (上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	出資比率 %
財団法人 榎山奨学財団	8,710	5.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,885	5.0
日本生命保険相互会社	6,227	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,168	3.9
リーマンブラザーズインターナショナルヨーロッパ	5,911	3.7
株式会社伊勢丹	5,001	3.1
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	4,499	2.8
第一生命保険相互会社	4,200	2.6
株式会社丸井グループ	3,417	2.1
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,243	2.0

(注) 1. 当社は自己株式16,259千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いています。
2. 出資比率は、自己株式16,259千株を控除して計算しています。



当冊子についてのお問い合わせ先

株式会社 オンワードホールディングス

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-3272-2312